

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

あさぎり町議会

検索



通年議会 第1～2回会議

町長所信表明	2P
一般会計補正予算（2号）	3～4P
一般質問	8～14P
常任委員会・一部事務組合報告	15～16P
研修報告	17～19P

令和5年度 第2回 会議

第2回会議は6月9日から16日までの8日間の会期で開いた。北口俊朗町長初めての議会、初日に行われた所信表明で、町長は、「5の重点項目の実現に取り組むため国・県を含めた様々な機関や団体と共有し、連携しながら町民の生活により添った対応をしていく」と述べた。

町長から提案のあった令和5年度の一般会計補正予算を含む議案10件、報告11件、諮問2件、同意4件を全会一致で可決。選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われた。議会広報調査特別委員会委員の選任が行われ委員長に溝口峰男議員、副委員長に岩本恭典議員が就任した。

北口俊朗町長の所信表明

5つの重点項目の実現(要約)

1 子育て世代の経済的負担の軽減

- ① 小中学校の給食費と保育料の無償化
- ② 子ども医療費の窓口負担をなくす
- ③ 学ぶ環境や費用面の援助情報のサービスの提供

2 高齢者が元気になる町づくり

- ① 高齢者等への交通手段支援策の見直し
- ② 買い物、配食、見守り等の生活支援サービスの向上を図る

3 安心・安全に暮らすことができる町づくり

- ① 災害に強い上水道の整備や生活基盤や地域防災力の向上を図る
- ② 地域医療の確保のため、公立多良木病院の健全運営を支援
- ③ 球磨人吉管内の消防組合の着実な広域化を推進し救急医療体制の充実を図る

4 地域の産業が元気になる町づくり

- ① 物価高騰などに迅速に対応し農林商工業の担い手や従事者の確保によって地域産業の維持継続が図る

5 未来につながる健全な財政運営

- ① 自治体DXの考えを導入し、行政のデジタル化を図ることで住民サービスの充実に繋げていく
- ② 持続可能な開発目標SDGsについても、社会課題の解決に貢献すべく行政運営や住民生活に取り込んでいく

- さる環境を守る
- ② 担い手、新規就農者、起業家への支援、農業支援センターの拡充等を実施
- ③ デジタル社会の進展に対応するため、インターネット環境の改善充実を図り地域社会のデジタル化を推進する

- ③ カーボンニュートラルについては「脱炭素先行地域」として、実行計画の実現に向けた取り組みを着実に進めていく

◎これまでの良いものは継承し変えるべきところは改善していきます。

皆様の共感を頂かないと実現できません。皆様との信頼関係は不可欠であり最も大切だと思っています。皆様の声に真摯に向き合いたい心が通じ合う行政運営を目指していきます。



第1回会議 (5月25日開会)

徳永正道議員から私事都合により議員辞職の願いが提出された。
あさぎり町議会は通年議会のため本会議での許可が必要となり、全会一致で議員辞職が許可された。

第2回会議

一般会計補正予算 (第2号)

可決

歳入歳出それぞれ6億1,989万6千円を追加し

総額 130億129万7千円

補正予算の主な事業

総務課

- ・消防団活動服更新 (肉付け) 18,600千円

企画政策課

- ・生活応援券 (商品券) 交付事業 78,249千円
- ・テレワーク拠点整備事業 17,206千円

財政課

- ・旧上庁舎解体事業 (肉付け) 114,400千円

町民課

- ・ゴミ袋物価高騰分経費助成 1,051千円

生活福祉課

- ・価格高騰に伴う低所得世帯支援 57,217千円
- ・低所得の子育て世帯支援 10,622千円
- ・子育て家庭支援 6,836千円

健康推進課

- ・不妊治療費助成事業 1,400千円

農林振興課

- ・林業施設災害復旧事業 142,601千円

商工観光課

- ・あさぎり駅前周辺整備調査 (肉付け) 14,363千円

建設課

- ・通学路整備事業 7,200千円
- ・町道維持補修事業 16,200千円
- ・河川改修事業 27,000千円
- ・町営住宅下道団地改修設計 4,500千円

教育課

- ・文化財保護事業 1,503千円
- ・小中学校防犯用備品購入事業 1,635千円
- ・スクールバス更新事業 10,000千円



テレワーク拠点施設



解体される上庁舎 記念撮影会職員OB他



町営住宅下道団地



現在運行しているスクールバス

審議内容の抜粋

補正予算

Q 岡留公園の大型遊具の撤去の後はどうするのか。

A 危険防止のため撤去するが、再設置するかは未定であり、その所は協議していきたい。



岡留公園大型遊具(使用禁止)

Q 台風で被災した狩所の不用枝の撤去・剪定は歩道や墓地・電線の部分がある。電力会社の協力も必要と思うが協議しているのか。

A 電線・道路敷部分等については関係課と協議しながら危険な部分は取り除きたい。

Q スクールバスの更新で、同タイプが1台使用されているが、更新の判断は。

A スクールバス以外に1台町が所有している。経過年数、安全確保のためにも今後更新等を行っていく。

Q コロナワクチン接種が文化ホールで実施されている。文化ホールの使用を待ち望んでおられる方がいるが、今後の予定はどのようになっていくのか。

A 9月以降に秋開始を計画することになっている。文化ホールを使用されるようなスケジュール等を組めるようにしていきたい。



コロナワクチン接種の様子

Q 小中学校の防犯対策で、今回の用品以外に防犯カメラ、防犯ブザーの配備はできないか。

A 防犯カメラは学校の改修に合わせ設置をする予定である。防犯ブザーも防犯対策に有効かと思われるので充実させていく。

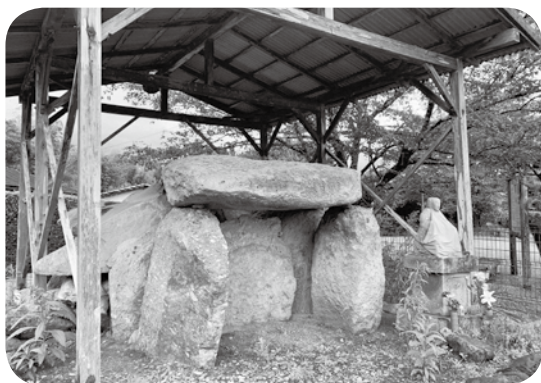
Q あさぎり商社が、数年にわたり多額の法人所得税を納めている。ゴミ袋の販売やふるさと納税の手数料で黒字が出たからとのことだが、代表監査員からも指摘されているように経営状態を分析するべきではないか。

A あさぎり商社に代わっても業務内容は、ふるさと振興社と変わっていない。経営改善に力をいれ業務内容等も検討していく。

Q 才園古墳は古墳時代に建設された。鎧金獣帯鏡をはじめ数多くの収蔵品が出土している。すべてが一級品であるか。

A リ、このような物を持つ人が住んでいた所であるがゆえに地域の方たちの生活に影響が出ている。家の新築もままならず、道路の整備もできない。才園地区周辺整備に取り組む考えはないか。

A 国、県、文化財保護委員会を入れて慎重に協議を進めていかねばならないと思う。今回の調査の状況を見て判断していきたい。



才園古墳 (永才区)

条例の制定・改正する条例

可決

議案第1号 あさぎり中学校部活動地域移行検討協議会設置条例の制定について

あさぎり中学校部活動の段階的な地域移行について円滑な運営及び成果の確保を図るため

議案第2号 あさぎり町旧役場庁舎条例の一部を改正する条例の制定について

旧上庁舎を廃止するため本条例の一部を改正する必要があるため

議案第3号 あさぎり町重度心身障がい者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

熊本重度心身障がい者医療費助成事業費補助金交付要領の一部改正に伴い本条例の一部を改正する必要があるため

議案第4号 あさぎり町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

令和5年4月12日付け こ成環第5号こども家庭庁成育局長通知により本条例の一部を改正する必要があるため

議案第5号 あさぎり町畜産センター条例の一部を改正する条例の制定について

岡原畜産センターを廃止するため本条例の一部を改正する必要があるため

議案第6号 あさぎり町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

民法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正する必要があるため

議案第7号 あさぎり町農村女性の家条例を廃止する条例の制定について

農村女性の家を廃止するため、本条例を廃止する必要があるため



解体される岡原畜産センター



引き続き弓道場として使用される
畜産センターの事務所



解体される農村女性の家

令和4年度繰越明許費繰越計算書

※ 26項目のうち15項目
1千万円以上を抜粋 (単位:千円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
					既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
						国庫支出金	地方債	その他	
総務費	総務管理費	旧庁舎等除却事業	143,435	90,035	4,500		85,500		35
		旧上庁舎内サーバー機器等移設事業	22,490	22,490					22,490
		テレワーク拠点整備事業	61,719	42,019	28,629	13,162			228
農林水産業費	農業費	肥料価格高騰対策支援事業	12,000	11,411	4,000				7,411
		団体営農業農村整備事業	20,117	20,117		12,055			8,062
	林業費	公有林整備事業	79,141	32,550		18,689			13,861
土木費	道路橋りょう費	町道維持補修事業	69,000	52,300		19,607	25,700		6,993
		道路改良事業	25,000	18,190			15,700		2,490
		歩道整備事業	92,000	91,733		41,507	47,500		2,726
	河川費	河川改修事業	43,000	43,000			43,000		
		河川浚渫事業	16,000	14,700			14,700		
災復旧費	農林水産施設災害復旧費	農地等災害復旧事業	11,800	11,800		7,367			4,433
		林道災害復旧事業	109,232	109,232		80,312	3,100		25,820
	公共土木施設災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業	57,900	52,300		22,651	10,500		19,149
	その他公共施設・公用施設災害復旧費	その他公共施設・公用施設災害復旧事業	38,627	38,627			38,600		27
合計			801,461	650,504	37,129	215,350	284,300		113,725

※繰越明許費とは?

毎年度の予算に事業を完了を予定し、予算化しているにもかかわらず、特別の事情によって工事等が遅れ、年度内に完了することがどうしてもできない場合がある。
会計年度独立の原則の例外として、予算で定めて翌年度に繰り越して経費の支出が出来るものとしている。

令和4年度継続費繰越計算書

(単位:千円)

款	項	事業名	継続費の総額	令和4年度継続費予算現額	支出済額及び支出見込額	残額	翌年度逡次繰越額	左の財源内訳		
				予算計上額				繰越金	特定財源	
					地方債	その他				
総務費	総務管理費	第二庁舎建設事業	1,284,115	511,235	495,400	15,835	15,835	10,535	5,300	
教育費	中学校費	あさぎり中学校長寿化改修事業	1,007,920	464,460	406,650	57,810	57,810	53,710	4,100	
合計			2,292,035	975,695	902,050	73,645	73,645	64,245	9,400	

※継続費とは?

建設事業などその完成までに数年度を要する比較的大きな事業を実施する場合、その経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって経費の支出ができる予算の定めをいう。

人事案件すべてに同意

代表監査委員

尾方 正志氏 多良木町 新任

尾方正志税理士事務所（人吉市）

任期 令和5年7月1日から令和9年6月30日

教育委員

恒松 倉基氏 須恵 新任

任期 令和5年6月26日から令和9年6月25日

中村 麻有氏 上 再任

任期 令和5年8月9日から令和9年8月8日

人権擁護委員

恒松 智恵子氏 岡原 再任

山下 久美子氏 免田 再任

※法務大臣の委嘱で任期は3年。法律に基づいて人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をする民間ボランティア。

選挙管理委員会委員

西 武利氏 免田（二子） 新任

甲斐 志津香氏 上（石坂） 新任

岡部 和平氏 岡原（桧山） 再任

福永 喜一氏 深田（下里） 再任

選挙管理委員会補充員

順位1 甲斐 龍馬氏 深田（植の里） 再任

順位2 木下 伝氏 上（神殿原） 新任

順位3 城本 龍一氏 岡原（福留） 再任

順位4 恒松 秀行氏 須恵（屯所） 再任

※選挙管理委員会委員の任期は4年。任期の間欠員が生じた場合は、補充員の順位1から繰り上げ委員となる。

固定資産評価委員

高田 真之氏 税務課長

※あさぎり町固定資産評価員規則で税務課長をもってこれに充てる。

課題山積の マイナンバーカードの現状は



なんば 難波 あやみ 文美 議員



おもて面



うら面

ポイント付与で取得が増えたマイナンバーカード

町民課長 4月末現在で71・8%。取得率が最も高い世代は70歳代で81%である。

問 デジタル庁によるマイナンバーカード交付申請はマイナポイント事業の実施により全国的に取得率が高まったが、7,300件に及ぶ個人情報漏洩など様々な問題点が多く浮かび上がり連日、マスコミ報道が続いている。町の取得状況はどうなっているのか。またマイナンバーカードと電子証明書の有効期限は。

デジタル政策審議監 総務省令において18歳以上は10年、18歳未満は5年と規定されており電子証明書の有効期間は5年。

問 医療機関等のマイナ保険証利用システム導入が義務化されたが、人吉球磨管内での利用状況とマイナ保険証利用後のトラブルは。

町長 5月21日現在で導入した医療機関は83ヶ所、薬局は55ヶ所である。苦情や相談は確認していない。

問 マイナカード取得は任意であり生活に直接的なメリットよりも危険性に対する不安の方が大きい。すでに取得したマイナカードを返納する際の手続きや現在の保険証が廃止された後の対応はどのようになっているのか。

デジタル政策審議監 マイナカードを取得していない方には1年間有効の資格確認証を発行して保険証と同様のしくみを提供する。国外転出時

には返納が必要になるが、デジタルサービスを利用するためにも極力保持して頂きたい。

所信表明の子育て世代への取り組みと公立病院の経営支援について

問 学校給食の無償化をしても使用食材の品質維持管理はできるのか。

教育課長 給食センターで物資の納入基準を定めており今後も安心安全な給食を提供する。

問 数年前の全世帯アンケートで、子どもがいる家庭の約6割が医療費は償還払いで良いという結果が出たがネット申請システムの活用状況は。

生活福祉課長 医療費助成のネット申請は30%程度であり普及していない。申請不備のため電話確認などの業務が多発している。

問 県は市町村の医療費助成事業に

5億7,500万円を予算計上したが、コンビニ受診が増加しないよう医療費の抑制につながる知識や知恵を子育て世代に伝えることも必要である。地域医療確保のために、構成4カ町村で国からの交付金を公立多良木病院へ繰り出しているが病院と町の会議はどのように行っているのか。

健康推進課長 財政課と健康づくり所管課で年に1回、現年度の実績や交付税の負担金見込額、翌年度の要望額などについて説明を受け協議している。

問 財政面での支援と併せて、町の担当職員と病院職員間での人事交流を活発に行うことも大きな支援の一つになるのではないか。

町長 人事交流については関係町村長と協議して進めていく。時代の流れを早くつかみ地域医療、僻地医療確立のために先手を打っていく。

一般質問 7人が登壇



橋本 誠 議員

所信表明の具体的施策は

問 中学校の給食費と保育料の無償化、また子ども医療費助成事業を改善し窓口負担をなくすとあるが、全て同時に取り組むのか。

町長 子育て支援策については一斉に取り組むことは非常に財源的にも無理があり、国の少子化対策の動向を見ながら、段階的に実施していきたい。7月までに普通交付税、繰越金が確定するので、一般財源の動向を踏まえ予算確保に努めていきたい。

問 運転免許証返納者への交通手段策の見直しについて、改善の考えは。また、今の交通支援の問題点は。

町長 運転免許証返納者に対して、何の支援策もない状況。デマンド交通を整備した目的には返納者への対策も含まれている。デマンド交通の現状等を見ながら、改善すべきところは変えていきたい。

問 生活基盤や地域の防災力の向上を図るとあるが上下水道の整備はどのように考えているのか。

町長 上下水道の整備は、令和2年7月豪雨の被災を受け、現在は須恵地区を進め今後、岡原地区の整備計画を進めていくという段階。生活基盤の整備については優先的に現在進められている。



須恵送水ポンプ場の建設状況

問 地域防災力の向上を図るとあるが、具体的な取組の考えは。

町長 支え合いマップ、防災に対する意識、知識の向上を図っていきたい。

問 地域社会のデジタル化に推進すること、地域課題の解決を目指すところがあるが、今の現状をどう考え、何に取り組むのか。

町長 町の一番の課題は、人口減少だ。人口減少の緩和を図るため、現在、テレワークの拠点として整備を進め、外部人材の流入を図り、地元企業と外部との交流を広げていきたい。

問 自治体DXの考えを導入し、行政のデジタル化を図ることで住民サービスの充実につながるかとあるが、具体的に何をするのか。

町長 現在、行政手続の電子化を進め、子育て介護関連の一部手続については、国からの補助も受けながら、マイナンバーを活用したサービス、対応可能な環境を構築している。今年度、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、マイナンバー

カードを活用した申請書自動印字サービスを導入し、書かない窓口の実現を図る。

問 現在進められている公共施設の取壊しの中で、跡地の有効活用、人口減少対策の一つとして、住宅地の提供を提案したい。維持管理費が必要のない、住宅用地として提供できないか。

町長 一つの提案として承りたい。

問 人口減少はいかに食い止めるかが問題。将来にわたって住民が安心して生活できる支援策を実施する必要がある。議会と一緒に町の将来を考え、本音で議論していきたいが。

町長 議会と一緒に重点項目を進めていきたい。

公民分館建設は「行政区の統合を前提とする」のか



みぞぐち みねお
溝口 峰男 議員

問 前町長から「行政区の統合を前提とする」との方針が示され建設要望から3年以上も待たされている。今後も継続するのか。

町長 統合をしてもいいという行政区については、継続をしていきたいが、行政区統合と防災的な機能等、そういった部分を切り離して、公民分館建設は考えたほうが先延ばしなくして解決するのではと感じている。

問 今の制度（規則）にある事業費の9割補助は継続すべきと考えるが、両方立てて進めることでいいのか。

町長 補助率の9割補助は継続するが、統合した地区に対する10割補助については、議会でも議論されていないので、今後、議会で議論させていただきたい。

問 3年前からすると物価も高騰し地元の1割負担でも事業費が増えた分、区民の負担は大きくなってきている。また公民分館と消防詰所（公共施設）を併設した場合の負担割合、そして、補助金の上限の見直し、皆越地区の公民分館についても早急に基本方針を示していただきたい。

教育長 一時避難所の機能も合わせ外観にとらわれず自然災害に強いプレハブで建てているところもあるので、機能の高い公民分館づくりが大事ではないかと思う。

町長 引き伸ばす結果になるかもしれないが、関係課と協議を進めていい方向性が見いだされればと思う。皆越地区の公民分館的な役割は、旧分校を改築するのが最善かと思う。

問 荒廃農地の活用は、「センダン」の

植栽を継続するのか。

農林振興課長

「センダン」に代わるものとして（株）ツムラの「ブドウ山椒」が有望なので、地元で検討していただきたい。



ブドウ山椒(定植4年目から実の収穫)

問 少子化対策の課題は、出会いの場を求めている人に、その場を提供することが一番大事である。出会いの場の創造共同事業の実施と、結婚新生活支援事業も新たに実施できないか。

町長 結婚新生活支援対策については、今後、始めたかと考えている。

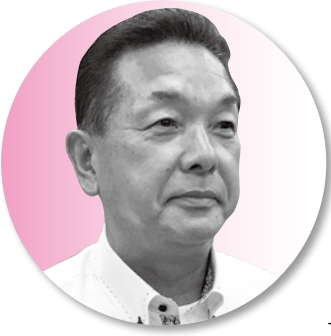
商工観光課長

結婚チャレンジ事業費補助金を活用して、各種団体が出会いの場の提供やイベントの実施等ができるように、今後周知していきたい。また、結婚新生活支援事業については、町に住民登録されている方々に対するサービスとして、今後検討を進めていきたい。

問 住民協働による資材支給が130万円と上限が決まっているが、今日の物価高騰により資材や機材等も値上がりしている。上限の見直しも含め柔軟な対応が必要ではないか。

町長 住民協働事業は、自助共助で地域づくりを行う事で、住民自治の意識が高まり地域の活性化につながる。担当課、関係課と協議したい。

建設課長 必要に応じて判断していきたい。



いわもと やすのり
岩本 恭典 議員

デマンド交通事業について

問 デマンド交通を利用する歩行等が困難な高齢者をカバーする対策は。

生活福祉課長

介助が必要な方の利用については、介助者を同乗させて頂く事をお願いしている。家族が町外にいる場合、登録をした町外の家族の方が、デマンド交通を利用できるように改正をして、パンフレット等で周知をしている。

問 介助する方がいない場合、例えば押し車が必要な人は、社会福祉協議会のかちやあボランティアの方に来てもらう事もできると聞いたが。

高齢福祉課長

令和3年度から住民参加型在宅福祉サービスとして、かちやあボランティアの方に活躍をいただいている。

デマンド交通については、デマンド交通とかちやあボランティアを併

用した活用例ということで、買物する店舗までの移動はデマンド交通を利用し、買物をしたあとの荷物を受け取って、利用者の方の自宅まで持って行くような活動を始めたところだ。

魅力的なあさぎり町を創造するための南稜高校との連携について

問

所信表明で、子どもたちが希望を持てる魅力的なあさぎり町を創造するため強い決意で取り組むと言われたが希望を持てる町とは。

町長

自分の町が誇れる、誇られる町にすることだと思う。

問

南稜高校と連携協力に関する包括協定を結んでいるが、内容については。

町長

私が担当課長の時

南稜高校がSPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）研究指定の高校になっており、そのための事業推進・町の特産品開発・地域の人材育成のための連携ということで協定を結ばせて頂いている。

ただ3年間ということ、以後は協議のうえ継続していくということである。

問

南稜高校生による、防災の一環として「雨庭」が肥後銀行にあり、新しい庁舎にも設置して欲しいとの要望があっているが。

総務課長

県のほうからもこのプロジェクトについては広めていきたいという話が来ており、南稜高校と相談しながら、第二庁舎に限らず、公共施設の中で「雨庭」を作れるところを検討していく。

問

南稜高校は、あさぎり町にとって宝である。南稜高校の必要性

を感じて、コミュニケーションをとっていくことが大事だと思うが。

町長

私も南稜高校との連携については、包括協定を結んだ時から強く感じており、今新しい試みとして、健幸教室の指導者側にインストラクターとして南稜高校の体育コースの生徒に参加してもらおうという計画もある。

そういった将来につながるような、将来の道が見つかるような、町としての連携も続けていきたいと思っている。



洪水災害の防止対策として肥後銀行免田支店に設置された南稜高校生による【雨庭】

所信表明はどういう事からの発案か



こみ た かずゆき
小見田 和行 議員



オンライン授業風景

子育て世代の経済的負担の軽減について

問 小中学校の給食費と保育料の無償化

子ども医療費助成事業を改善し、窓口負担をなくすところ。あさぎり町議会基本条例に、「町長が議会に計画、政策、事業等を提案するときは、政策等の決定過程を説明するよう努めなければならない。」とされている。それに基づき説明を願う。

たい。まずは政策の発生源は何か、どういう事からの発案なのか。

町長

子育て世代の仕事と子育ての両立という点において、非常に大変な状況を目の当たりにしていることで発案した。コロナ対策、物価高騰対策で一時的な交付金は国から来ているが、そういったものの対応でなくて、やはり中長期的な安定した財源の確保が課題とされている。

問

子ども医療費の助成事業も、償還払いから現物支給にという考えだが、過去あさぎり町においても、コンビニ受診とか、財源の膨らみ等の課題があり、償還払いになった経緯がある。患者側としては非常に便利かもしれないが、それを受ける医療現場も、看護師等の不足、今後の働き

方改革に伴う医師の残業時間の制限等の問題も抱えている。感染症等の流行があった場合は医療現場の疲弊につながるリスクもあるが、それらの事も考慮されたうえでのか。

町長

啓発活動によってそのような課題は無くすよう、意識の改革を行う保護者の方々に御理解を求めていく以外はないかと思っている。

問

年間に必要な財源はどれくらいを想定されているか。

町長

約1億円程度かなと考えている。財源確保についても留保財源であったり、財政調整基金、特定の基金、それらを組み合わせたい。ただ今回の子育て世代の経済的負担の軽減策について

も、一斉に取り組みをスタートするということなく、例えば2分の1の補助から始めるといった段階的なやり方で、少しでも負担の軽減につながればと考えている。

問

これらの支援策はいつ頃から実施するつもりか。

町長

令和4年度の決算が7月には確定すると思うので、それらの状況を見て検討していく。

他の質問

- ・ 安心、安全に暮らすことが出来る町づくりについて
- ・ 地域の産業が元気になる町づくりについて
- ・ 未来につながる健全な財政運営について



かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

学校部活動地域移行の 現状と課題は

問 スポーツ庁と文化庁は2022年12月

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を公表した。今後、保護者への負担増加や外部指導者研修経費等の負担が懸念される。これから協議を進めていく事に併せて、現状への支援も必要だと思ふが。

町長

部活動については、学校教育の一環として行われてきた。体力・技能の向上を図る目的以外にも、生徒と教師との人間関係・人間形成の上で必要不可欠であったと思

中学校の部活動「地域移行」



- 背景**
- 少子化で学校単位での部活の維持が困難
 - 教員の「働き方改革」

う。しかし、少子化が進展する中、従前の体制で運営する事が厳しい状況になってきている。

問 中学校の部活の現状は。

教育課長

運動部13、文化部2の15部で462名中約83%の382名が部活動に加入している。

問 部活動への町からの補助金等は。

教育課長

各種大会出場費補助金、部活動運営補助金、県中体連出場選手派遣費負担金の合計で317万3,000円。

問 5月末に新聞でも

方について連日取り上げられていた。土日の地域移行については、有資格の外部指導員確保等、今後様々な場面での支援の予算化も行うべき。原資としてふるさと寄付金は使えないか。

企画政策課長

「子どもの笑顔があふれ、子どもが明るい未来

へはばたくまちづくり」の項目で活用できるかと。各担当課が予算化してからとなるが研修費用とかの負担は可能。基金充当については財政課に確認しながら今後検討する。

町長

部活動を存続していくためには、指導者は非常に重要な立場、教育委員会を中心にして現在指導されている方々の意見も聴きながら進めていきたい。

防犯灯の管理に身近なDXの活用を

問 町の防犯灯の数は。

総務課長

上地区633、免田地区484、岡原地区314、須恵地区299、深田地区286の合計2,016ヶ所。

問 球切れの時の連絡方法は。

総務課長

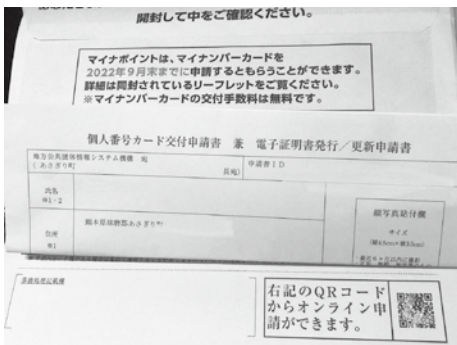
町民から直接か、区長へ連絡後に防犯灯台帳を確認して総務課か支所へ連絡し

ていただいている。

問 夜に球切れを見かける事があるが、何処の地区なのか、区長が誰かわからず、連絡できない事がある。防犯灯にQRコードを設置できないか。

デジタル政策審議監

QRコードを貼りつけて専用フォームから報告する事は技術的には可能。しかし、2,016本に識別番号等を貼与し、併せて雨等への工夫、町の報告受理体制等を検討していく必要がある。



マイナンバーカード申請にもDX

地域の産業が元気になる まちづくりについて



とよなが きいち 議員
豊永 喜一

問

町の基幹産業である農業は、担い手不足、高齢化、資材等の高騰により将来の経営に不安を感じる人も少なくない。所信表明で様々な施策を述べられているが、具体的などころが見受けられない。今後いろいろな課題に向け、どの様に対応していくのか。

町長

農業においては、肥料飼料、資材などの高騰によって、非常に経営が圧迫されている状況。町としても安定した農業所得の確保のために、様々な支援を継続していかねばならないと思っている。例えば、担い手労働力不足対策として、農業用施設機械整備事業補助金、農業後継者育成支援金、畜産振興事業補助金における畜産ヘルパー事業、そして農業支援センターの拡充あさぎり地域づくり協同

組合の活用などが挙げられる。現状として条件が不利な農地の耕作放棄地の増加が懸念されるが、地域個人における法人化の支援も必要と思う。現在の高騰対策についても、国・県の状況を勘案しながら取り組んでいきたい。



問

担い手の一つとして挙げられている集落営農組織の現状について、2組織が解散され、その後の状況と今後どうなっていくのか。

農林振興課長

2組織が解散し、残ったのが23組織という状況。集落営農組織は当初は法人化を目標として設立されてきた。十数年経った今、メリット等も感じられないような状況になっている。この状況を打開するために、各集落営農組織に対しアンケート調査を行っている。その他に集落営農組織代表者による意見交換会もやっている。ただ打開できるような改善策とかが、見いだせてないような状況。今後も引き続き、なるべく早く解決できるような形で検討していく。

事業の継承、改善について

問

所信表明の中では継承して変えるべきは

町長

改善していくとあるが前町長の4年間で、いろんな事業を計画、実施されてきたが、どのように検証し、継承、改善していくのか。

前町長もすばらしい企画をして進められており、例えばSWC、そしてあさぎり商社、脱炭素、デジタル、テレワーク拠点、光基盤、駅前といろいろあるが、まだこれから始まるというのが殆ど。SWCについては、健幸づくり教室は非常に町民からも評判が良く、今の段階では全部継続という形で削っている予算は全くない状況。一度やってみて検証する時間が必要。一応、継続してみても改善すべき点があれば、改善していきたい。

総務建設経済常任委員会

委員長 永井 英治

〇5月25日(木)

●建設課

①令和5年度一般会計補正予算(第2号)について

問 岡留公園の遊具撤去に係る工事請負費があるが、撤去の必要性和撤去した後の新しい遊具設置の考えは。

答 設置後数十年が経過し遊具の危険性が指摘され、4月より使用禁止にしている。今後の遊具設置については、岡留幸福駅周辺整備と併せて考えていくべきだと思うが、その時期が未定なので、遊具は個別な案件として考えていく必要があると考える。

●上下水道課

①自然災害に係るあさぎり町水道料金及び下水道使用料の減免に関する要綱案について

問 昨年の台風災害後の被害調査の現状はどうだったのかまた、要綱案と前回の減免の件の妥当性はどうか。

●答

断水の個別の調査には職員の労力にも限界がある。前回のことを踏まえての要綱の作成なので、本日の委員からの意見を踏まえた上で、さらに内容を詰めていき、今後とも早急に常任委員会にも内容を提示したい。

●企画政策課

①令和5年度一般会計補正予算(第2号)について

問 町政施行20周年記念式典事業について説明があったが町民の方々に周知ができるように、予算の許す範囲で、何らかの記念品のものを配布するような事も考えてもいいのではないか。

答 本部会議の中ではこれ以上の事は考えていない。町内の他のイベントに冠を付けて(町政施行20周年記念〇〇等)町民の方々に周知できるようにしたい。

この他にも、総務課・農林振興課・商工観光課・財政課より、一般会計補正予算(第2号)の説明があり審議をした。

厚生文教常任委員会

委員長 豊永 喜一

〇5月25日(木)

●生活福祉課

①物価高騰に伴う低所得世帯支援事業

問 家計急変世帯の定義とは。

答 令和5年1月から12月までの収入のうち、任意の1ヶ月の収入を12倍した金額が、住民税の均等割非課税の基準と同等となる世帯。

②母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備(運営)事業(子ども家庭センター)

問 子育てする保護者にとってどういう変化があるのか。

答 子育て世代包括支援センターを設置し、その後、子ども家庭総合支援拠点を昨年設置し、連携した相談支援を行っている。現在、子ども家庭センターをどういうふうな組織形態にするのか関係課と協議中で今年度中にはしっかり示したい。

●町民課

①ゴミ袋物価高騰分経費助成事業

問 枚数の根拠は。

答 1年間に消費する量。



町指定のごみ袋

●教育課

①文化財保護事業
才園古墳石材環境調査

問 専門家の調査ということだが奈良の方じゃないと出来ないのか。

答 県の紹介で石室等の調査に慣れた方をお願いする。

●健康推進課

①不妊治療費助成事業

問 昨年保険適用となったが女性の年齢は補助対象は43歳未満のままか。

答 年齢制限は変更していないので従来どおり。



人吉球磨広域行政組合議会

○3月27日(月) 第1回定例会

個人情報保護法施行条例の制定、議会の個人情報保護に関する条例の制定の2件と令和5年度一般会計予算(22億2,847万円)一般会計経費の負担額(総額13億1,899万5千円・あさぎり町負担額1億9,129万5千円)について、執行部の補足説明を受けた後に質疑、採決を行い原案通り可決した。

○5月30日(火) 第2回臨時会

統一地方選挙により不在であった議長に指名推薦で五木村の西村久徳議員、副議長に人吉市田中哲議員が選出された。また、議会選出監査委員には、多良木町の坂口幸法議員が選任された。



広域行政組合議員

加賀山 瑞津子
小出 高明
山口 和幸
皆越 てる子



公立多良木病院企業団議会

○6月8日(木) 第2回臨時会

統一地方選挙により不在であった議長に、指名推薦であさぎり町の難波文美議員、副議長に湯前町の遠坂道太議員が選出された。

議会運営委員会においては、委員長に多良木町の林田俊策議員、委員には多良木町の魚住憲一議員、湯前町の倉本豊議員、水上村の荒嶽晋議員が選任された。また議会選出監査委員の任期満了に伴い、あさぎり町の小谷節雄議員が選任された。



公立多良木病院企業団
高森 啓史 企業長

企業団議員

小谷 節雄
難波 文美
豊永 喜一
小見田 和行
溝口 峰男



上球磨消防組合議会

○5月30日(火) 第1回臨時会

多良木町議会議員改選に伴い議長不在のため議長の選挙があり、水上村の米本宗徳議員が選出された。

議会選出の監査委員には多良木町の豊永好人議員が選任された。

令和5年度一般会計補正予算については、歳入の主なものとして、共同運用による人吉下球磨消防からの増額分9,754万円を負担金として受け入れ、歳出の主なものとして、高機能消防指令システム整備関連業務委託・実施設計分・工事請負費の増額分1億2,373万円を消防施設費として支出するもので原案通り可決した。



消防組合議員

岩本 恭典
橋本 誠
永井 英治

志布志市議会議場研修

議会活性化調査特別委員会 委員長 橋本 誠

5月11日(木)鹿児島志布志市議会議場を視察し、現在建設中の第二庁舎の通信設備(議場)について、見識を深めた。議会通信設備導入の変遷、運用経費の説明を受け、町に導入予定の通信設備と同様の志布志議会において現状を確認した。今回の研修で学んだことを今後、執行部と議論しながら、有効な通信設備となるよう進めていきたい。



議員控室にて説明を受けている様子



本会議場にて説明を受ける様子

令和5年度町村議会議長・副議長研修

5月23日 東京国際フォーラム ホールA 副議長 溝口 峰男

町村議会の課題と今後の展望について(政治の劣化とその脱却の方途を考えよう!)

大正大学 社会共生学部 教授 江藤 俊昭氏

2023年統一地方選挙では、投票率の低下、なり手不足の地域が増加した。コロナ禍に翻弄され「通常的生活」がおくれない住民に寄り添い、適切な対応を政治が行ったかどうか問われた。今後、政治の劣化の問題点を克服し地域民主主義を再生させる新たな動きが大切である。

町村こそデジタル化を(海外ではすでに始まっている未来)

NPO法人 ブロードバンドスクール協会 理事 若宮 正子氏

なぜ、日本のデジタル化は遅れてしまったのか。①上に立つ人が高齢でデジタル化に積極的でない?②黑白をはっきりさせたくない国民性?③ITは選挙の「票」にならない?④すべての国民に当事者意識が薄い?

先進国から学び、AIに仕事を手伝ってもらい、AIの活用で若者と高齢者がもっと繋がる仕組みを作ること。そして、高齢者のデジタル教育に「家族の協力」を!!

地方議会とハラスメント(女性議員の約6割がハラスメント行為を受けたことがある)

朝日新聞社 コンテンツ編成本部 次長 三島 あずさ氏

日本の男女格差(ジェンダーギャップ)ランキングは、153カ国中121位。ジェンダー平等や多様性に対する社会の関心は、着実に高まっているが、ジェンダー不平等で多様性に欠ける組織や地域は、生き残りが困難になっている。

女性の政治参画を阻む要因は有権者や支援者、議員等からのハラスメントが57.6%を占めている。議員をめざす人を増やすには、政治に参加しやすい環境づくりが欠かせない。

あさぎり町議会議員研修

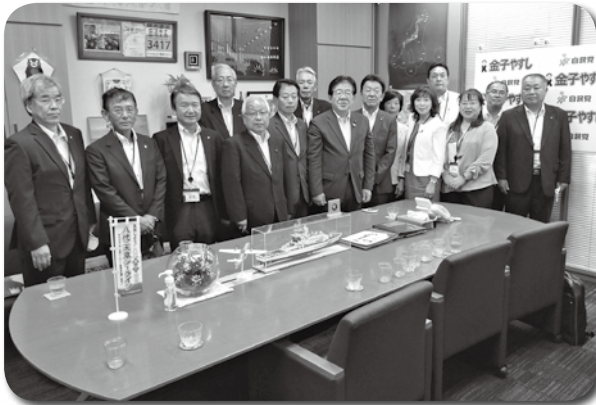
岩本 恭典 議員

研修 1日目

7月10日（月）、議員研修会が東京都千代田区永田町の衆議院第二議員会館5階会議室にて実施された。

あさぎり町からは、北口町長、中野デジタル政策審議監、町議会議員が出席し、金子代議士出席のもと、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 地方創生推進事務局 白水参事官より「デジタル田園都市国家構想総合戦略」および「デジタル田園都市国家構想交付金」について概要の説明があり、その後、総務省 地域自立応援課 川島課長より「地域力の創造に係る施策」についての説明があった。

質疑応答では、議員から、デジタル田園健康特区の内容、コンビニで発行できる証明書等を広域で行う事への支援、特定地域づくり事業協同組合の財政支援、スマート農業の高額な初期投資に対する支援、家族と赴任した地域おこし協力隊への生活支援、等についての質問があり、国としての考え方が示された。



金子代議士と意見交換会を行った
(議員会館 金子事務所)



研修の様子

研修 2日目

7月11日（火）、茨城県稲敷郡阿見町の株式会社ツムラ茨城工場および工場内のツムラ漢方記念館を視察し、記念館では、中 慎一担当課長からツムラの歴史、あさぎり町におけるミシマサイコの今後の作付動向について説明があり、記念館内案内の後工場に移動し、漢方原料の保管場所および漢方薬の製造工程を見学した。



ツムラ漢方記念館で説明を受けた



中部ふるさと会

小谷 節雄 議員

4月23日、第16回「あさぎり町中部ふるさと会の集い」がコロナ禍による長い空白を経て名古屋市において開催され、本町議会からも正副議長と共に出席を致しました。

本年度は8名の新入会員もあり、70名余りの出席者の4年ぶりの再会を喜び合う姿で溢れていましたが、総会の後には、「郷土の古写真について」と題した杉下潤二顧問による昔のふるさと（旧中球磨5か町村）の姿の紹介や、懇親会の中ではお約束の「故郷」の合唱などもあり、遠く離れたあさぎり町に想いを馳せる皆さんの想いが詰まった集いとなりました。

また、くまがわ鉄道や肥薩線の復旧状況をはじめ、最近多発している本町の災害について心配も多数いただき、それらの声にお応えするためにも議会人としての認識を改めて再確認させて頂いたところです。

河野会長をはじめ役員の皆様方のご苦勞は尽きないものと思いますが、「中部ふるさと会」の更なる発展をご祈念申し上げます。



森岡議長の挨拶



集合写真

ふるさと関西会

皆越 てる子 議員

5月28日、第11回「あさぎり町関西会の集い」が出席者72名のもと3年ぶりに大阪ホテルキャッスルで開催されました。第1部の総会では、宮原幹事進行のもと、開会の挨拶を三本松会長が行い、来賓紹介、来賓挨拶と続き、議事はすべて承認されました。その他で、ふるさと納税について企画政策課の上淵主幹が説明を行った後、最後に「記念写真撮影」をしました。

第2部は、村中幹事進行により、「就学児童・生徒支援募金」の趣旨説明を三本松会長が行いビンゴゲーム、カラオケと懇親会が行われ、さらに募金活動もあり、町長に募金を手渡しされていました。また、あさぎり町産の物産販売も行われ、15品目179袋が用意してあり地元産の味を楽しもうと買い求めておられる光景が見られました。この他にくま川鉄道への支援金も考えておられるようです。

ふるさと会に感謝し、「ふるさと会」がいつまでも続くことを願い会場をあとにしました。



三本松会長の挨拶



物産販売の様子

町民の声

聞かせて

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力を願います。

町内の方々に寄稿していただきました



輪投げの様子

地域活動も和やかな「寿光会」

免田地区(黒田) ^{くろき}黒木 ^{きよの}清乃さん

黒田老人クラブの正式名は、「黒田寿光会」と言います。「寿ぐ光」私の大好きな名称です。会員に誘うと必ず「老人という言葉がネエ」と言われます。気にしないので不思議な気持ちです。現在会員数は120名ですが活動できる方は40名~50名位で多くの方々と活動しています。会員相互の親睦と友愛を深めようと、さまざまな楽しみを目的とした行事、計画がなされています。毎月15日は清掃例会があり岡留神社境内の掃除草取り、毎月20日サロン、毎週金曜日百歳体操、グラウンドゴルフ練習毎週2回、大会を年に4回いずれも岡留グラウンドゴルフ場で行っています。そして、四季折々に花や球根植込み、除草作業草刈り等の花壇管理作業が年に7回程あります。一連の行事毎が一段落すると皆が心待ちにしている日帰りの慰労会兼ねて温泉旅行があり、年に1回1泊旅行があり、他にもお楽しみ会があり、旅行では必ずカラオケを楽しんでいます。皆が一丸となって取り組んでいるのでとても絆が深く、和やかに笑いの絶えない明るい雰囲気です。新しく加入して下さる方大募集しています。一緒に笑い楽しみませんか。最高齢92歳で学ぶ事が多くお元気です。パワーを頂いています。寿光会末永く……



■表紙の写真について

ホオズキ市と
岡留神社お田植え祭
(あさぎりこども園児)



編集後記

線状降水帯が、今年も至る所で発生し大きな被害をもたらしています。

3年前の球磨川流域の豪雨災害が思い出され改めて日頃の備えが重要であることを痛感しています。

「喉元過ぎれば熱さ忘れる」と言われています。

防災意識を保つために、それぞれの地域で避難訓練や防災塾等をお願いいたします。

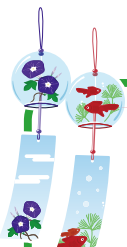
「自分の命は自分で守る」「逃げ遅れゼロ」を目指し自助・共助で地域の防災力を高めていただきたいと思います。私たちも、災害に強い安全で安心な「まちづくり」に全力で取り組んでまいります。
(溝口 峰男)

編集発行者

議長 長森岡 勉

広報調査特別委員会

委員長 溝口 峰男
副委員長 岩本 恭典
委員 山井 英治
委員 山口 幸一
委員 小出 高明



★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

